

97/2/26

通信・放送機構

マルチメディアラボ 新年度仙台に設置

全国の機関結び脳を研究

郵政省の認可法人「通信

・放送機構」(小山森也理

事長)は新年度、仙台市青

葉区の東北大加齢医学研究

所内に「青葉リサーチセン

ター(仮称)」を設置して、

病院や研究機関を専用線な

どで結び通信ネットワーク

を構築、脳に関する共同研

究を行う。

研究プロジェクトのリー

ダーには、東北大加齢医学

研究所の福田寛教授が就く

予定。東北大加齢医学研究

所をはじめ、秋田県脳血管

センター、東京都老人総合

研究所など全国の十数力所

の大学、研究機関の参加に

よる研究開発を目指す。

核磁気共鳴診断装置(M

RI)による脳画像などを、

研究機関相互にデータ伝送

できるようにすることで

「マルチメディア・バーチ

ャルラボ(仮想的大研究

室)」を構築。脳画像デー

タベースの作製や、脳の損

傷や病気などを判断する際

に比較の基準となる正常な

脳の立体・高細密映像の開

発に当たる。

国の平成八年度補正予算

で九億円が郵政省から通信

・放送機構に出資され、青葉リサーチセンターが整備される。研究期間は平成八年度から五年間の予定。年間一億数千万円かかる研究費は、民間企業の寄付に頼ることになり、参画企業を求める説明会が三月二日に仙台市宮城野区の仙台サンプラザで開かれる。